

# ひろば大代

NO.415

大代まちづくり  
センター

H26. 2.23

## 私の年(午年) 初春を迎えて



椿 高崎美枝子

平成二十六年の初春をおよろこび申し上げます。

我が家の庭に白雪を頂く蠟梅も金色に輝き、心を和ませてくれています。

私も八十四才の齢を頂き、只々感謝で一杯でございます。これまで生きてきた長い歲月には色々とお楽しかった事や悲しかった事がありました。多くの方々に励まされて今の幸せがあるものとありがたく思っています。

正月には、子供や孫達がやさしい声の初電話をしてくれ、元気をいただき嬉しかったです。

又、雪見舞いに美しいシクラメンの花などの思わぬプレゼントにやさしさ

を頂きました。

これからは、平成三十二年の東京オリンピックを目標として元気で、頑張りたいと思います。

これからも、皆様や家族に支えられて感謝の日暮しをしていきたいと思っております。

## 六回目の午年

頑張っています!



平 井谷英美

今年は何年にもなく、積雪や寒い日も長く続いて外の仕事も思う様に出来ていません。これは「寒さのせい」ばかりではないようです。気持ちは若い「つもり」で生活していますが、まさに今年には六回目の年男です。昭和十七年生まれ、七十二歳になりました。

戦中から戦後、何も無い不自由な時代に育ちました。野や山や川での遊びが思い出されます。小学校四、五年生になると農作業の手伝いも遊びの延長で自然と身に付いたのでは・・・。近年、私は農事組合法人「やまべ」

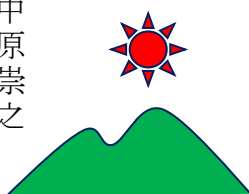
で美味しい米作りをすることが主業になり「忙しい」「忙しい」で一年があつという間に過ぎていきます。これまで私は幸せな事に、健康に恵まれて暮らす事が出来て本当にありがたいと思っております。「人も生き、己も生きて幸せになる」思う様に成らないのがこの世の常。

これからも地域の方々や関係のある多くの方々に助けられながら、老体に鞭打ち、身体の続く限り、やまべのおいしい米作りと好きな伝統芸能の大江高山神楽社中の神楽も頑張りたいと思っております。

## 大江高山ユツト

大田市環境衛生課 中原崇之

大江高山は大代町から祖式町にまたがる標高808メートルの山で、山田コースにある休憩所から南西には江津の海岸線を見ることができ、山頂では三瓶山、仙ノ山などの山々や条件がよければ隠岐の島影も望め、土日になれば他県からも登山に訪れるというまさ



に島根県を代表する山の一つです。

この大江高山には様々な動植物が生息しており、大田市自然環境保全条例で採取や捕獲を禁止している指定希少動植物3種のうち2種が大江高山に生息しています。

この2種とは、しまねレッドデータブックにも掲載されているユリ科の植物で、県内でも生育地が限られる絶滅危惧Ⅰ類のイズモコバイモと、アゲハチョウ科の蝶で県内では減少傾向にある絶滅危惧Ⅱ類のギフチョウです。

毎年開催されている「春の大江高山自然観察会」では、イズモコバイモやギフチョウも観察することができ、昨年初参加した時には大江高山登山の想定外の険しさにビックリ、ギフチョウの多さにビックリと驚きだらけの観察会を体験させていただきました。

年々減少傾向にあるギフチョウの乱舞がこれほどまで見られるのは、県内において大江高山のみだということですから。

山頂まで登ると登山記録ノートやQRコード看板があり、登山者がメッセージを残せるようになっていきます。

そのノートをまとめた「大江高山山頂からのメッセージ」が大代高山会によつて発刊されました。大代まちづくりセンターや高山そば道場などでも読むことができますので、ご覧になったかたもいらつしやると思います。そこには登山道の整備や草刈りといった地元ボランティア作業へ感謝する登山者の言葉が沢山つづられていて、大江高山が多くの人に愛されていることが一目で見てとれます。

まさに大代の象徴ともいえる大江高山ですが、この豊かな自然を守り、次の世代へ継承することが大切です。大代には大代高山会があり大江高山の保全活動を行っていらつしやいます。市としてもバックアップしてまいりますので、大代の美しい自然を保全していく為、一緒に頑張っていきましょう。

## 「フラジル・カンピーナスから」 フラジル社会

### の祝い事



関西高山会 田中公道

いつも「ひろば大代」で、ふる里を

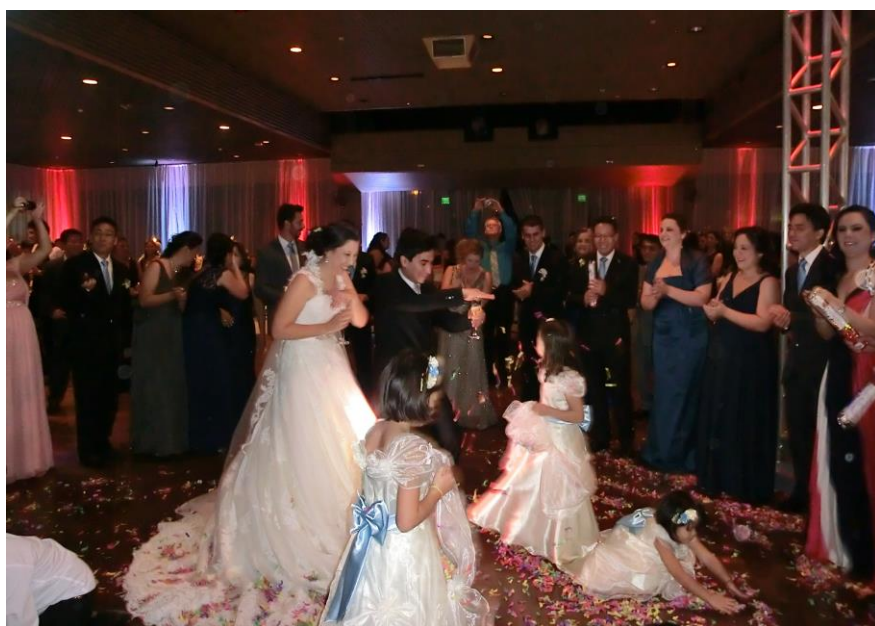
愛しみ懐かしみ、愛読させて頂いていきます事に心よりお礼を申し上げます。

今年も8月18日「サマー・ミュージック・フェスティバル大阪2013」を終えて8月23日から16回目のブラジル公演にやつて来ました。8月29日モジ・ダス・クルーゼス市からスタートし、2014年1月10日モジ・グアス市立劇場までに35〜36回のイベントやコンサート、リサイタル、文化省主催のオペラコンクールの審査、州立大学の講座など、薬と共に76歳の今日まで自分の生き方が出来たのは、ふる里の大江高山を背に野山を駆け回って学んだ子供時代があったからと感謝しています。

ブラジルでの大きな結婚式は土曜日の夜20時頃から始まり明け方の5時頃まで続くのが一般的です。二人がカトリック信者でなければ教会での結婚式は出来ません。話はそれますが私が共演したソプラノ歌手が州法で認められた女性同士の結婚をしました。同性同士の結婚は教会が認めていませんので信者であっても教会での結婚式は出来ません。その話に仲間内ではどちら

が男役？なんて囁きが聞こえ私も興味津々でした。

ブラジルは気候風土の関係で背広やネクタイを着用する機会が少ない国柄ですが、結婚式は皆がベストドレスで



集まり、男性はフォーマルな背広にネクタイ、女性は胸や背中が大きく開いたイヴニングドレス、中には普通のシヤツ姿の男性も、別に気にも留めない

のがブラジルです。

開始時間より早く来て積もる話に華を咲かせ、数十分遅れのブラジル時間で教会の結婚式が始まりました。

楽隊の華やかな音楽、宗教歌曲が流れる中、赤色のヴァージンロードを天使の子供たちが華やかに登場し、続いて登場したカップルが「新郎と母親」私は新婦がえらく老けているな…と勘違いする中、腕を組んだ華やかなカップルが続々と登場し祭壇の左右（新郎、新婦側）に分かれて並び、一連の最後が「新郎の父親と新婦の母親」のカップルだった。この絶妙な組み合わせに私は思わず唖った。

結婚式メインの花嫁が父親と登場し、迎えに来た新郎に花嫁を手渡し神父の前に並び結婚の儀式が始まった。

登場したカップルは新郎新婦と由縁のある夫婦で（伴侶が死亡の場合は代役と）数少ない名誉として普段とは別人の華やかな美男美女に変身しての登場だった。

式後、祭壇横のカップルが新郎新婦に抱擁の別れで退出し、最後に新郎新婦が退場して結婚式が終わった。

今回の結婚式に集まった人々は約3

50人、その後は宴会場に各自が移動して名簿チェックで入場し、各テーブルに準備されたオードブルや飲み物を集まった人たちから飲食して腹ごしらえを整えて新郎新婦を待った。22時45分頃、新郎新婦が登場、天使の子供たちがその周りを取り巻き、天井から降る花びらを拾っている中央で、新郎新婦が華やかに舞い、踊りながら二人の乾杯で正式な祝宴となった（添付写真）。その乾杯後に私の歌が入り午前0時頃からメインディッシュのバイキング料理となった。

午前1時を過ぎた頃から、仮装した老若男女や新郎新婦が入り乱れていつ終わるとも知れない踊りが始まった。私たちは午前3時前に失礼したが終わったのは夜明けだったとか。

日本人の私が気になった事は350人もの飲食費用である。ブラジルでは個人的な金銭のお祝いの習慣が無く、その費用は両家の負担となる。両家で折半と言う事も無く、より豊かで払える方が多く支払う大らかさで両家の金銭規模に見合った結婚式になるように

す。親しい人々は新家庭が希望するお祝の品を個人や複数で贈るようである。私の友人の結婚式では630人も招待者があつたとか。

教会での結婚式も開始時間はあるがいつの間にか始まり、その後の祝宴でも司会者の挨拶も無く、老若男女が入り乱れての盛大な飲食、足腰の元気な人は時間を忘れて踊り明かす屈託のない祝い方は、私たち日本人の儀式を重んじた結婚式と披露宴とはまるで異なる世界でした。

私たちもよく招待されるブラジル人の誕生日パーティーは、乳幼児から老人まで非常に重要視されています。毎年恒例で盛大なパーティーは、自宅或いは会館を借りて多くの客人を招待し、始まる時間はあるものの、それぞれが自分の時間で集まって抱擁の挨拶後、勝手に飲食しながら雑談し、満腹感と喋り疲れた頃、全員でハッピー・バースデーを歌い、主役の「ケーキカット」、その後はそれぞれの時間で抱擁の挨拶をして帰宅します。

私たちはこの自由な祝い方と底抜けに明るく本音で楽しむブラジル社会の

祝い方に、最初は戸惑いながらも今は仲間入りして大いに楽しんでいきます。そして人生最後の儀式、神に召された祝い事、その葬儀のミサを司る公園墓地内の建物、十字架形の柩の中で献花に包まれた正装の全身の姿、惜別の後に柩の蓋を閉じての埋葬（土葬）、そのリアルな人生終焉の儀式は日本人と異なる死生観を見る思いで、自分の人生観、世界観を大きく変える体験でした。

世界の異文化の地で懸命に自分の人生を懸けた生き方に挑戦し、生かされている自分に幸せを感じています。

2013年11月ブラジル・カンピナスにて。

### 石見銀山資料館

#### 館長仲野義文氏

#### 講演会開催のお知らせ



昨年、関西高山会・東京石見高山会の総会で、石見銀山資料館館長仲野義文氏による「大代町の歴史」を中心とした講演会が開催され、大変好評を得ました。

当大代町でも左記の通り開催を計画しましたので、ご案内いたします。

#### 記

日時 平成26年3月2日(日)

午前9時～10時

演題 石見銀山・大代町の歴史

場所 まちづくりセンター集会室

仲野義文氏経歴 広島県広島市生まれ(財)鉄の歴史村地域振興事業団を経て、平成5年より石見銀山資料館学芸員、平成19年より現職

日本近世史を専攻、鉱山の支配や経営・技術について研究をおこなう

『歴史のなかの金・銀・銅・鉱山文化の所産』(勉誠出版、平成25年、共著)  
『環境の日本史4 人々の営みと近世の自然』(吉川弘文館、平成24年、共著)

『銀山社会の解明―近世石見銀山の経営と社会』(清文堂、平成21年)などの著書がある

主催 大代高山会

共催 大代婦人会

共催 大代まちづくり

センター



俳句

あすなる句会



柿田 横手いちえ

入湯の 狭庭さなわに一株 石路の花

寒紅梅 いまだに色を 見せずして

八反田 森 信子

夜の静寂しじま 目覚まし朝の 雪の嵩かさ

喧しや 声はりあげし 猫の恋

椿 花田時子

悴かじむ手 息吹きかけつ キーを打つ

離れ住む 故郷恋し 春を待つ

下市 今田文字

猫の恋 家の回りを 鳴きたてる

三寒に 麴造りを 急かされし

川上 岩田律枝

安眠を 破りて闇に 猫の恋

荒れ畑の 靄立ち上がる 雪解ゆきげかな

本郷 和田喜和子

節分の 豆まきをして 無事祈る

風の音 三寒まだまだ 続きけり

椿 柿丸寿枝

平凡な 暮らし重ねつ 寒明くる

煩惱を 消しゆく風や 猫の恋

お知らせ

★大代地区社協より

右原 中垣土夫様から

香典返しにかえ御厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。

\*\*\* \*\*

\*

\*

3月行事予定



\*\*\* \*\*

▼1日(土) 社協ボランティア会議

▼1日〜7日 春季全国火災予防運動

「消すまでは心の警報ONのまま」

▼2日(日) 講演会 午前9時〜10時

婦人会総会 10時〜

▼5日(水) ひなまつりイベント

午前9時〜午後3時まで

まちづくりセンターにて開催!

▼9日(日) 福祉弁当 飯谷支部

▼9日(日) 「よっちゃん菜」イベント

午前9時〜販売

▼13日(木) 第三中学校卒業式

▼18日(火) さくらんぼ教室

▼19日(水) 高山小学校卒業式

▼23日(日) 連合自治会

「ご存知ですか?」

見てニヤ〜

ホームページから

「ひろば大代」が見れます!



大代高山会とまちづくりセンターと連携してホームページを開設して、早や2年余りが経とうとしています。

毎月発行されている大代まちづくりセンターの広報誌「ひろば大代」や、3ヶ月ごとに発行される大代婦人会の

会報誌「婦人会だより」、また大江高山の登山者からの登山情報・メッセージ・ビデオなども掲載されています。

「大江高山」で検索すると、上部に(ギフチョウの舞う...)が出ます。ここをクリックしたら簡単に見ることが出来ます。

大代町内の情報が満載されていて楽しんでいただけると思います。是非一度アクセスして下さい。

ホームページのアドレスは

www.oetakayama.com

です。

皆さん、知り合いの大代町出身者に知らせて下さい。